



JCLIFE

2022年
9月号

JCI 一般社団法人尾道青年会議所 <http://www.ojc.or.jp/> 〒722-0035 尾道市土堂2-10-3 尾道商工会議所ビル3F
TEL:0848-20-1110 FAX:0848-20-1112 E-mail:ojc@urban.ne.jp Facebook:<http://www.facebook.com/isojcnw>

8月例会・定時総会

8月21日(日)、尾道商工会議所大会議室にて8月例会・定時総会が開催されました。総会では第4号議案において2023年度理事長予定者に吉田雄太君が推挙され、全員の賛成をもって承認可決されました。

次に第2号議案において2023年度監事数及び理事数が上程され、監事2名、理事長予定者含む理事18名が全員の賛成により承認可決されました。そして第3号議案において2023年度監事予定者に歌一行君及び大西貴明君が推薦され、全員の賛成をもって承認可決されました。続いて理事選挙が行われ、厳正なる開票の結果、理事予定者18名が選出されました。次年度監事・理事の皆様、本当におめでとうございます。
(記事：森川陵)



2023年度理事 (18名)

 沼尾 一君 (重任)	 高橋 建太君 (重任)	 高垣 裕吉君 (新任)	 小林 暢玄君 (新任)	 亀田 康寿君 (新任)	 加藤 雅崇君 (重任)	 岡本 大輔君 (新任)	 安保 大輔君 (新任)	 吉田 雄太君 (理事長)
 吉田 嵩正君 (新任)	 山本 恭平君 (新任)	 村上 康君 (重任)	 村上 直弘君 (重任)	 松本 裕太君 (新任)	 藤田 祐輔君 (新任)	 平岡 良之君 (重任)	 半田 祐喜君 (重任)	 沼田 剛志君 (新任)
2023年度監事 (2名)		 歌 一行君	 大西 貴明君	(50音順)				



共創まちづくり委員会の平岡です。当委員会では先日行われました夏期講習を担当させて頂き、今年も尾道ふれあいの里にて夏の大人の大会を行いました。ここ数年、コロナ禍の影響で夏期講習も行うことができておりませんでした。夏期講習のみならず



ず会員交流の場が少なくなつたことを踏まえ、チーム分けを入会年度で分けることで委員会の垣根を越え、大人がムキになってチームの勝利に向けて各競技を行うといった趣旨のもと、屋外で感染症対策万全な状態で終えることができました。参加頂いたメンバーの方々から久々に腹から笑ったなど、賛辞のお声を頂きました。当委員会は残すところ事業のみとなりました。引き続きご協力の程、宜しく御願い申し上げます。

(記事：共創まちづくり委員会委員長 平岡良之)



卒業生スピーチ



皆様お疲れ様です。岩井です。よろしくお願いたします。まず、入会のきっかけからお話させていただきます。

多くの皆さんがそうだと思いますが、入会のお誘いをいただいた数ヶ月から数年後、入会を決めるとい方が多いのではないかと思います。実は私は1分で決まりました。

平成29年7月よく覚えています。7月つてもう仮入会員ギリギリの月だと思っただけ、内海洋平君から連絡をいただいて、「ちよと今日夜、飲みに行こうよ」と「おええよ」と、2つ返事、軽い気持ちで尾道のJ-I-W-A-Tで集合ということで、その日行きました。店内に入ると小林輝久先輩、麻生先輩、内海洋平君がいらっしゃいました。その時にJ-Cについて話がリンクしなくて何だろうと思っただけです。なんでこの方々がいらっしゃるのだろう。その席で入会のお話をいただきました。考える暇なく2つ返事で「はい」と答えました。帰ってから少し考え、その次の日にやっぱり断りたくて、もうどうしようかなと。で、内海洋平君に電話しました。「お前、騙したお前、ちよと先に言っとけや」というふうな咎めなんですけど、私自身この平成29年7月つていうのが今の会社の立ち上げ時期だったので、お金もなければ売り上げもないし、時間もないし、すごく不安でどうしようかなと思っただけで、帰って妻にももちろん相談して。で妻に言うとも、ものすごくその当時青年会議所に対してイメージがあまり良くなかつたんですね。で、もちろん反対されました。まあ、もうしょうがないと、私サラリーマンです。で最後に、会社の社長に「どうしましょう、もうこういふことになりましたけど」社長は「まあ、尾道で事業やっていくにはこちの縁で大事だからいんじゃない」と。まじか。と。「じゃあ、入会します」というきつかけでした。それで、妻の気持ちはまだ、すごく反対して、そこをどう乗り切ろうかなとか、私は妻の顔を見ながら、その時はJ-C活動を参加しておりました。ある日、私は、妻のJ-Cに対する悪いイメージにまた火に油を注ぐような事件を起こしてしまいます。私元々J-Cに入る前は禁煙

しておりました。仮入会員の年に夏期講習があつて、そこである先輩からタバコをいただきました。そこからちよと吸うようになりました。もちろん妻には黙ってです。そこから数ヶ月後、確か60周年事業の時に、尾道駅前の広場で仮入会員が何か役割を与えられてそばを提供するみたいな事業がありました。その際ちょうどそのブースの隣にI-Q-O-Sさんがブース出されていました。

ここで、その時手持ちの現金がないなということ、支払おうかなと思つたんですけど、カードだったら履歴と明細が残っちゃうのでどうしようかなと思つたんですけど、横に藤田君がいたんで「ちよと立て替え」ということでI-Q-O-Sを購入しました。私はそこから晴れて妻に隠れてI-Q-O-S生活という日が続きまして。なんですけど、やっぱりそういふ嘘とかさういうことつて、すぐやっぱりバレちゃうんですけど、I-Q-O-S購入して約2か月後のことですよ。なんでタバコはまた吸いてるの、あんた」と問い詰めて「いやちよとJ-Cで、この前J-Cで」という風になあJ-Cのせいにして返答しちゃつたんです。よ。よりこれでJ-Cに対する悪いイメージが奥さんの中では大きくなつちやつて。

「でも禁煙をしようと、なんで吸つているんだ」と「なんで嘘をつくんだ」と「だつたらもう堂々吸えばいいじゃん」ということで、今は堂々と吸つております。その時にあわせてですよ。「あんた、そもそもJ-C、J-Cつて言つて、嫌々感じで行つてるやん。そもそもそれが許せないの。だつたらもう楽しい顔して行きなさい」と。「あ、わかりました。行きます。」ということでその時にJ-Cとタバコが認められました。

これからです、私がこれまで所属してきた委員会のお話をさせていただきます。

仮入会員の時に、私を含めて確か8名いました。それがいつの間にか2名いなくなつて6名というところで、ちよと寂しいなという風に思いました。

2年目ブロックゴルフ実行特別委員会。私、幹事として任命されてたんですけど、もうホントと申し訳ないです。私1度も事務局の鍵を取りに行つておりません。歌さん、正也さん、すみません。その委員会は、卒業旅行すこく思い出に残つていて。卒業予定者が山本慎也先輩でした。慎也さんは釣りが好きなんです。釣りに行きたいなあとということで、泊二日、高知にロッジを借りて行きました。とても楽し

かったです。翌年です、加藤雄大さんの教育系の委員会に配属になりました。ここで家族会とか、野外でやる教育系の事業をやつたんですけど、私、ピアキャンキンというのがあつたりとか、段ボールでピザを焼くというところの担当でした。

で、なんでこの担当になつたのかなつて今思い返してみると、私以前キャンプ場で働いていたことがありまして、ほんとなんか偉そうにたことなことを多分上から言つてたんじゃないかなと思つてるんですけど、そういう経緯があつて恐らくその担当にしちやつたんだなと思つてます。その時の委員会のメンバーでやつちゃんや陵さんが私よりめちゃくちゃアウトドアが詳しくて、なんかすげえ居場所がないな、という風に感じたんですよ。ですがその時に私をピアキャンキスターとか、キャンプマスターというふうな任命いただきました。誠にありがとうございます。で、その年にまたブロック出向して、その時が高山委員長の時、ブロック大会の時にSDGsの色にちなんだカクテルを作ろうというので、私その担当になりました。

で、その時も私シェーカーマスターということに任命いただきました。ありがとうございます。翌年です。総務広報委員会。この時、コロナがすごく流行りだして。ドラクエウォークのイメージがなくなつてですね。ドラクエウォークしてないメンバーに入れられないみたいな雰囲気がありました。で、私はそこでめちゃくちゃハマりました。結局私はそこで課金マスターという称号いただきました。ありがとうございます。

その年、またブロック出向しまして、その時は村橋委員長の幹事として出向いたしました。この時はマスターの称号は得られませんでした。が、ホントに今、他LOMの方とかとご飯を行つたりとか、仕事上での付き合いというのものがあつてすごく感謝しております。

翌年、去年ですね。高田昌広さんが委員長の時にも教育系の委員会に私配属になつて、私またアウトドアは得意なんで、テザートを作つたんです。その時にまた称号いただきました。ありがとうございます。とお願いしました。

で、最後に今年。今年も、半田委員長との教育系の委員会なんですけど、家族会で、またアウトドアですよ。私またここで任命いただきました。竹マスターです。ありがとうございます。

で、仮入会委員の時の1年を除いて約5年間のうちに3度教育系の委員会をしてるんですね。すごく私なりに勉強になったと思ってます。

この教育系の事業ということについてほんとに親御さんの気持ちだったりとか、子供との話し方の接し方っていうのは大変学びになったし、しかも私障害福祉の仕事をしておりますのですごく勉強になったと思っております。

最後に私は理事を1度もしておりません。そんな私でも、私の強みを生かしてくれたりとか、役割をくれたりとか、あとはマスターという風に言ってくれたりとか、私の居場所を作ってくれたこと、すごく皆さんに感謝しております。

ぜひ、皆さんには皆さんのキャラクター、個性を十分に生かせるような形で今後のJ.C.生活を送っていただきたいと思えます。短いですが卒業生スピーチとさせていただきます。



犬本 誠

皆さんこんにちは。まさか、自分がこの場に立つ日がくるとは思っていませんでした。

入会のきっかけは、幡中先輩に熱心に誘っていただき、3回目のお誘いの際に、あのまっすぐな眼差しにおされ入会しました。入会当時は、事務所を独立したばかりで委員会や例会ほとんど出席もできず当時の委員長には大変ご迷惑をおかけしました。当時何年も辞めようと思いましたが言い出せなまま1年が経過しました。2年目の中司さんの委員会にメンバーは若手が多く、少しずつ例会や事業に参加しはじめました。

この時に、副委員長の島田元太さんがよく話しかけてくれたり、仕事を少しずつ振ってくれたりと中司委員長が日の届かないところをしつかりフォローして委員会を陰で支えていた印象です。ここで少し青年会議所というものが面白くなっていったような気がします。

2017年工藤員委員会で、委員長長の工藤さんがとても情熱的な方で、その熱量で委員会メンバーを巻き込み、前人未到の12か月連続100%例会出席という偉業を成し遂げられました。委員長として弱みを見せず、時には強引なところもありましたが、またまた自分に青年会議所の面白さを教えていただいた委員会でした。

2018年中島委員会では、逃亡犯や豪雨の影響でほぼ何もできなかった委員会ですが、メンバーには麻生先輩、美ノ先輩がおられました。

飲み会だけは、よくしていたような印象です。ここではみんなで飲むことの大切さを学びました。青年会議所生活で忘れられないのが委員長をした2019年です。この時は苦しかったことしか覚えてなく、とにかく1年は委員長という役を演じていくことで、副委員長の高橋建太さんと一緒に、寺をテーマに1年間ずーっと。よく手法からはいると言われますが、すぐに手法からはいるのが私のスタイルなので、なぜ寺なんですか？と言われたらまだにわかりません。みんなの心の中の寺にも一度問いかけてください。この時に経験したのが、自分の居場所ができた、友達仲間ができたなど感じました。悩みがあれば先輩や同期、同僚の委員長たちと飲みに行つて相談して、みんな飲んで、商工会議所の近くの海辺でストロング片手に語り合ったり、カラオケでの優しい貴臣さんがマイクを投げつけてくれたり、DADA DADA大脱出の名前考えたり、事業も例会も、もちろん大事だったんですけど、困っていたら助ける、あの人がするんだつたら参加しようか助けようとか、この時期に大事なことをたくさん学んだような気がします。最後の事業、浄土寺さんで事業させてもらったとき、感じたことが1つあります。

やっぱり尾道青年会議所のメンバーについていなく、協力してもらっていただけです。当日は自分たちで考えて臨機応変に対応してくれて、普段言うことをきかない、酒ばかり飲んでるメンバーにスイッチが入るとこんなにも頼もしい存在になるんだとそれを委員長として動かせるって、小さい会社を経営している自分もこれってすごい気持ちいい瞬間だったのを今でも覚えているし、それをこれから理事する人、目指す人にもぜひその感覚を味わってもらいたいと思います。事業が終わったら泣くことを、加藤雄大くんのころから、『かとう』って言うてたんですが、その日はさすがにかたくなるかと思ってたんですが、時の安楽城副理事長がカトリアで、代わりにかつとっておいて私はそんなに心配をかけていたんだなとどうもありがとうございました。大変お世話になりました。ありがとうございました。

副委員長をした、2020年小川委員会では委員長の小川さんが優秀な方で本当に楽をさせていたような気がします。メンバーにも恵まれて、コロナ1年目を何で自分たちができるのか、本当に活動をしていけるのか葛藤した1年だったように思います。理事権のあるメンバーはすべて選挙で当選するというのもうれい瞬間も味わいました。なぜか、小川さんは私にじめられていた今も言ってますがそのような気はまったくございませんでした。

また、この時の、副委員長の皆様には大変お世話になりました。けご、おまま、ともも、おみみ、ちよげいもありがとうございます。いつかYDも含めて旅行でもいきたいと思います。

2021年フロアメンバーとしてゆつくりできるかなと思つた小西委員会でしたがなかなか色々仕事振られゆつくりできなかった印象です。ここでは、初めて後輩らしい後輩ができたかなと思えます。松本君、亀田君、次年度委員長おめでとうございます。これから辛いこともあると思いますが頑張ってください。

やっと2022年、半田委員会まで卒業を迎えられます。卒業生としての扱いはしてただけで、本当にありがとうございます。残り例会、事業と続きまして、最後に、みなさんにお伝えしたいことが何点かあります。事業は手法からはいるな。委員会メンバーもそういった委員長がいました是非注意してあげてください。綿菓子ももうかる。緑地帯で事業する際は是非綿菓子フランクフルトは鉄板です。お菓子のつかみどりはやめました。8万円旅行は参加しますが、色々な体験ができていきます。あとは、困っている人がいたら助けてあげてください。新入会員に話しかけるとか、なんでもいいです。事業に参加するだけじゃなくて、委員会にだけじゃなくて、ラインの返信してあげるだけで委員長は安心します。例会上に瞬だけでくても委員長喜びます。ぜひ、どんな形でもいので困っている人がいたら手を差し伸べてあげてください。理事長に恥をかかすな。自分が理事メンバーになったとき、委員長になったときは先輩から常に言われていた言葉です。委員長になったら好きに言えることか言えますけど、大前提に理事長に恥をかかせぬよう行動していただけたらと思います。自分もたくさん、副理事長、理事長、専務、事務局長にケツ拭いてもらってきました。なので今年度も次年度以降も最後は理事長がケツ拭いてくれるのでつかいごとたくさんしてください。

本当に9年間お世話になりました。残りの期間もどうぞよろしくお願いたします。残り期間以上で卒業生スピーチとさせていただきます。



川崎 耕平

2012年度に入会。当時の拡大委員長は、馬原さんで、我々は馬原チルドレンでした。

コロナで今はしていないですが、数人程度で年1回程度の定期的に同期会をして

ますね。良い同期です。2013年度は、美ノ上委員長の拡大研修委員会に、大西君と一緒に幹事で配属この年は、本当に濃い1年でした。

歴代、この委員会に配属された先輩方は、スピーチでお話されましたが、委員会旅行でのシンガポール、タイの約2週間の旅。本当に濃密な2週間でした。この委員会ですごくいいなって思ったのは、OFFとONの切り替えがすごいこと。J.C.で海外に旅行にいったりするんだなって思っていました。昔はそうだったみたいですが、近年ではこの委員会だけ。遊ぶ時はどの委員会よりも遊ぶ。やる時は徹底的にやることを常に実施されていきました。その代表例が安楽城さんが当時委員長で、夏期講習を大山ですることがあります。美ノ上委員長は、あえて、前日から鳥取市内に入り、朝まで飲む。帰れません。登山の前日ですよ？それでも、翌朝の登山事業では、どの委員会よりも一番に山頂まで行く。誰も文句がいえませんよね？そばで見ながら、すこいかなって思いましたね。そんな委員会ですから、参加率も多くなるわけです。私は入会間もない、生意気な若造で、先輩に迷惑をおかけし、叱咤激励を頂きながら、本当に楽しかったですね。もう一つが福山で行われた国際アカデミーへの参加。詳しいことは省略しますが、世界各国からJ.C.I.のメンバーと、日本全国のJ.C.メンバーが一同に福山に集まり、一緒に釜の飯を食べる。色んな意味で1週間大変刺激的かつ濃厚な1週間でした。

まあ、機会があったら、行ってみたいです。その翌年は、セクレタリーですね。当時は安部理事長、佐藤専務(当時で、吉原敏兼さんが理事)セク、元太君と私が同期セクでした。この年度は、セクで飲めないで、当時の安部理事長が気を使っていたので、沢山おいしいものを食べさせていただきました。焼肉、バー、からの鮎、そこからラーメン？みたいな食の暴力と呼んでおりました。まあ、冗談はさておいて、ヒトのカバンを持つ、送迎をする、出張や会議を設営する秘書のような役割で、当初はとまどいも沢山ありましたが、先輩方には教えて頂き、また和気あいあいとした楽しい事務局でありましたし、特に、同期セクの元太君の存在は大きかったですね。

その翌年、ここが私のJ.C.ライフでも一番頑張った年でした。12年ぶりのブロック大会を尾道で開催するというところで、実行委員会の副実行委員長として配属されました。12年前の先輩の当時の話を聞きに行くと、千光寺に舞台を設置して、そこで懇親会をしたということ。

